



通信

HP 学校だより
R4. 10. 3
NO. 22
文責 伊藤美佳

遊学のすすめ

豊坂小学校の来賓玄関（駐車場から見て左側）には、運動会の優勝旗や各種スポーツのトロフィーや盾、相撲関係の資料等が展示されています。その中で、「遊学心」と書かれた額が人一倍目を引きまします。「遊び」からは、体も頭も心も成長させるパワーがいっぱい出ていると思います。保護者の皆さんはどう思われますか？

1学期に自分たちで縄を使ってブランコをつくったり、落ちていた板を使って坂をそり滑りしたり遊びを創造している子どもたちがいました。聞いてみると、ボーイスカウトで学んだことを使っているのだと言います。コロナ禍でできなかった「すもう」。今まで遊びの中ですもうをとっている子どもはいませんでした。しかし、すもうを知り、対戦を経験したことで、遊びの中ですもうをとる子どもたちが出てきました。「遊び」というのは、子どもの学びを深める場であり、創造力や探究心を高める場でもあります。もちろん、社会性や忍耐力、協調性を養う場でもあります。「遊び」を通して子どもたちが折り合いをつけることも学んでいます。今年度、「遊び」の時間は子どもたちにとって特に大切な時間と捉え、昼休みは「遊びの時間」として確保しています。

子どもたちが生き生きと遊ぶ姿を見ていると、ついつい笑みがこぼれてしまいます。学びは国語、算数といった教科だけでなく、日々の生活の中すべてにあります。子どもたちが「自立」するために必要な力を、学校生活、家庭生活のどちらでもつけていきたいです。



学校訪問にて

先週の金曜日に学校訪問がありました。幸田町教育委員会や西三河教育事務所の方たちが来校してくださり、豊坂小学校の子どもたちが生き生きと学んでいる様子をご覧いただきました。豊坂小学校の先生方は、どうしたら子どもたちがより学びを楽しめるか考え、授業を組み立て、当日に臨みました。授業を見ていただいた方にご指導いただき、それをこれからに生かしていくための勉強会でした。ご来校いただいた方々が、「子どもたちが素直だね。」「廊下で会うととてもさわやかな挨拶をしてくれたよ。」などと言ってくださったことがとてもうれしかったです。また、授業を見ていて「聞く」ことを大切にしていることが分かったと言っていただきました。これは、子どもたちが各クラスで話し合って決めた「聞くときに大切にしたいこと」を意識していたのだと思います。今後も「聞くこと」をベースにコミュニケーション能力を高めていきます。ご家庭でも、ぜひ「聞く」を大切にしてください。

見守り隊の方から教えていただいた「あこがれ」

・集合場所で低学年の子たちがアスファルトにいる大きなミミズを囲んでいました。「気持ち悪い。」と言いながらもじっくり見て「こんなに伸びたり縮んだりしている。」と観察しています。「ミミズはどこに住んでいるの？」「土の中じゃない？」「じゃあ、ここではもぐれないね。」「車とか通るとつぶれちゃうね。」・・・そんな会話の後、6年生の子が棒を持ってきて、ミミズを拾い上げて土まで持っていきました。その後をみんなでついて行って、見ていました。「心は見えないけれど、行動で思いを見ることはできる」そんな時間でした。

とお伝えくださいました。「困っている人（ミミズ）を助ける」姿にあこがれます。やさしさが見えるそんな出来事でした。